

■ 東京 2020 オリンピック・パラリンピックを機に日本の「**リ・ブランディング**」を考える ■
東京 2020 応援プログラム 東京センターシンポジウムを開催
 「“交差集積”の時代がジャパブランドに求めているもの—スポーツ、ホスピタリティ、ビジネス—」
 【日 時】7 月 10 日（水）15：00～19：00 【場 所】関西大学東京センター（東京都千代田区）

関西大学ではこのたび、東京 2020 応援プログラムとして、東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会が行われることを機に、「日本」というブランドをどう捉え、世界中にどう発信していくべきかを考える特別シンポジウムを、7 月 10 日（水）15：00 から関西大学東京センターにて開催します。

本件のポイント ・スポーツ、ホスピタリティ、ビジネスの 3 つの視点から、ジャパブランドの課題と今後を占う
 ・ブランド・マーケティング研究の第一人者である本学商学部 陶山計介教授がファシリテート
 ・東京 2020 参画プログラム認証事業「東京 2020 応援プログラム」の一環として開催

我が国では、2020 年に東京オリンピック・パラリンピック、2021 年に関西ワールドマスタースズ、そして 2025 年に大阪・関西万国博覧会と、さまざまな国際イベントを控えています。そこで世界にポジティブな変革を促し、それらをレガシーとして未来へ継承していくためには、個人や企業、自治体、大学などが総力をあげ「オールジャパブランド」としての真価を発揮し、世界へメッセージを発していかなければなりません。

こうした状況のもと、今回のシンポジウムでは、スポーツ、ホスピタリティ、ビジネスの 3 分野に焦点を当てながら、「日本とは何なのか?」「外からはどう見られているか?」に端を発し、来たる一連の国際イベントを前に、ジャパブランドをめぐる現状認識と展望について考えます。

当日のファシリテータは、日本のブランド戦略研究の第一人者として名高い、本学商学部の陶山計介教授（一般社団法人ブランド戦略研究所理事長）。「パラリンピック」「宿泊産業」「フードビジネス」等をテーマとした 3 つの講演およびパネルディスカッションを実施します。

つきましては、ご多忙の折恐縮ですが、取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

< 東京 2020 応援プログラムの概要 >

【日 時】7月10日（水）15：00～19：00

【場 所】関西大学東京センター（東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー9 階）

【プログラム（予定）】

< 第1部 >

15：00～ 挨拶 陶山 計介（関西大学商学部 教授）

15：20～ 講演 1 小澤 直氏（公益財団法人 日本財団パラリンピックサポートセンター 常務理事（CEO））
 「パラリンピックで日本を変える」

16：05～ 講演 2 中村 裕氏（学校法人トラベルジャーナル学園ホスピタリティツーリズム専門学校 校長）
 「宿泊産業における現状と課題」

17：00～ 講演 3 文野 直樹氏（イートアンド株式会社 代表取締役会長）
 「グローバル化するフードビジネスにおけるEAT+&」

< 第2部 >

17：55～ パネルディスカッション

〔ファシリテータ〕陶山 計介 〔パネリスト〕小澤 直氏、中村 裕氏、文野 直樹氏

【主 催】関西大学

【共 催】関西大学東京経済人倶楽部・一般社団法人ブランド戦略研究所

【定 員】100名

以 上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

取材に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：玉木、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

■ 講演者プロフィール・講演概要

○小澤 直 氏（公益財団法人 日本財団パラリンピックサポートセンター 常務理事（CEO））

1974 年生まれ。埼玉県の中高一貫全寮制で学び、高 3 の夏に甲子園出場。早稲田大学野球部でプレーした後、商社に就職。その後、オハイオ大学大学院でスポーツビジネスを学び、メジャーリーグでのインターンを経験。2002 年に日本財団入職。秘書室長などを経て、2015 年 5 月に公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンター、2017 年 9 月に一般財団法人日本財団ボランティアサポートセンターを設立。（日本財団パラリンピックサポートセンターは「2016 年度朝日スポーツ賞」、2019 年 5 月に「スポーツ庁長官賞」受賞）



講演テーマ 「パラリンピックで日本を変える」

講演概要 グローバル化が急速に進む中、日本にとってダイバーシティ&インクルージョン（D&I）の考え方を浸透させることは成熟社会を目指す上でも不可欠であり、企業においても重要な概念となっている。日本のパラスポーツの状況と社会の D&I 理解の関係性ならびに、そこに取り組むパラサポの活動について、ブランディングの観点を交えながら解説する。

○中村 裕 氏（学校法人トラベルジャーナル学園ホスピタリティツーリズム専門学校 校長）

1963 年東京ヒルトンホテル入社。1987 年に日本人として初めて、東京ヒルトンインターナショナルの総支配人に就任。大阪・名古屋・東京ディズニーランド・グアム・ソウルなどのヒルトンホテルの立ち上げにも従事した。1988 年からはロイヤルパークホテル開業のため、同ホテル総支配人として三菱地所株式会社に移籍。その後も様々なホテルの立ち上げに携わり、2009 年には Visit Japan 大使に任命された。国土交通大臣表彰（2001 年）、東京都功労者表彰（2008 年）、外務省大臣表彰（2013 年）など数々の賞を受賞。



講演テーマ 「宿泊産業における現状と課題」

講演概要 長年にわたる我が国の宿泊・ホスピタリティ業界の最前線で活躍してきた経験をふまえ、外資系ホテルのマネジメントやサービスの特長、それと日系ホテルとの異同、日本人のホスピタリティの本質、訪日外国人旅行者への対応など、わが国のホテルや旅館をはじめとする宿泊業がグローバル化を進めていく。そのうえで、ホスピタリティないし“おもてなし”の面で現在かかえている問題点や課題、今後の展望などについて論ずる。

○文野 直樹 氏（イトアンド株式会社 代表取締役会長）

1959 年生まれ。大阪府出身。1980 年に、父親が創業した大阪王将食品株式会社（現 イトアンド株式会社）に入社。1985 年、同社の代表取締役社長に就任。2011 年にジャスダック市場へ上場、翌年には東京証券取引所市場第二部へ上場、さらに翌年には同市場第一部へ指定される。2017 年、同社代表取締役会長に就任。2019 年 9 月に、大阪王将が創業から 50 年を迎える。『おなかいっぱい幸せを一日常の生活食文化に貢献する「食：EAT」＋「&」の発想』という理念やミッションのもと、冷凍食品と外食産業を両軸としたビジネスを 10 か国で展開。



講演テーマ 「グローバル化するフードビジネスにおける EAT＋&」

講演概要 グローバリゼーションが進む今日、わが国のフードビジネスの置かれている環境、とりわけインバウンド需要の伸長、人財不足の中での外国人雇用に関する経営課題やビジョンについて解説する。また、未来の顧客感動を生む価値創造、生活者の『真の幸せ』とは何か、2025 年に万国博覧会開催が決定した『発祥の地 大阪』への想いについても紹介する。

以上